



# 三内丸山通信

## 今年度の発掘調査終了！

三内丸山遺跡では、ムラの移り変わりや人々の生活の様子を明らかにするため、毎年発掘調査を行っています。

今年度は、昨年度に続き第2号道路跡北端周辺で5月19日～10月31日に実施しました。



### 調査成果

Aトレンチには墓が分布します。土が楕円形に掘りこまれた土坑墓2基と、埋められた土器（埋設土器）3基を調査しました。このうち埋設土器1基からは人間の奥歯が見つかりました。大きさから、成人の歯の可能性があります。今後、人骨の専門家と詳しく

調査しました。このうち埋設土器1基からは人間の奥歯が見つかりました。大きさから、成人の歯の可能性があり、今後、人骨の専門家と詳しく



○ A～Dトレンチの発掘調査地点と、☆ムラ作り体験の建物  
□ 改修中の大型竪穴建物（子供の墓の整備も進行中）  
令和7年10月 上空からの様子



柱穴断面 赤枠内に黒く残る柱痕

Bトレンチでは掘立柱建物跡を構成する柱穴群が見つけられました。その一部は柱穴の半分を掘り、断面で柱の痕跡と埋め土を観察しました。



右の埋設土器内から出土した歯（赤丸の中）



縄文時代中期後葉～末葉の埋設土器（約4800年前～4200年前）

く調べていく予定です。東北地方北部には、一度遺体を埋葬し、その骨を土器の中に入れて再び埋葬する例があり、縄文時代中期の終わり頃に出現するとされています。同じような出土例や関連性について調べています。

Cトレンチでは、土や土器・石器・炭化物などが谷に向かって捨てられていました。調査区の端に沿って掘り下げたところ、土器がつぶれたような状態で出土し、ほぼ完全な形に復元できる土器もありました。



Cトレンチでの土器出土の様子



Dトレンチで確認できた人が捨てた土の堆積

Dトレンチでは、谷に向かって多量の土が捨てられていました。平面では横方向に带状に、断面では傾斜に沿って層状に土が堆積しています。

今回の調査については令和8年3月7日（土）の報告会で詳しく解説します。また、同日から縄文時遊館ギャラリーで開催する速報展では、今年度出土品と調査成果を合わせて展示します。

## 令和7年度企画展「三内丸山遺跡の重要文化財～新指定品大集合！～」

この展覧会では三内丸山遺跡の重要文化財だけを約130点集めました。

令和6年に追加指定されたものを中心に、その特徴や価値、観察ポイントを楽しく紹介します。

3Dデータなどを活用して、ふだん見ることができない角度から重要文化財の魅力を体感できます。

ぜひ足をお運びください。



令和6年8月に追加指定された重要文化財

### 企画展のご案内

会場：三内丸山遺跡センター 企画展示室  
会期：令和8年3月8日（日）まで  
観覧時間：午前9時～午後5時  
※入場は午後4時30分まで  
休館日：12月22日（月）、12月30日（火）～1月1日（木・祝）、1月26日（月）、2月24日（火）  
観覧料：常設展観覧料でご覧いただけます。※一般500円（400円）、大学生等250円（200円）高校生以下無料、（ ）内は20名以上の団体  
※冬祭りの1月31日（土）・2月1日（日）は無料





### 縄文のムラづくり体験

8月24日から11月2日まで「縄文のムラづくり体験」を実施しました。  
小学生から大人まで21名の方が参加し、樹皮葺き屋根の竪穴建物1棟の解体・組立作業を行いました。

参加者はムラの特徴や建物の構造を学びながら、木の伐採や加工した建物部材の設置などを行い、縄文人の知恵や技術について理解を深めました。



ムラづくり体験の様子

最後には建物内に土器や石器などの道具を並べて、竪穴建物内部の様子も再現しました。  
遺跡にお越しの際は、新しく完成した竪穴建物にも、ぜひお立ち寄りください！

### リニューアル

#### 「子供の墓」

縄文時代の「ムラ」のたたずまいを体感できる場として、毎年史跡整備事業を実施しています。現在、子供の墓の覆屋の改修を行っています。

覆屋は発掘された地下遺構をそのままの状態で見学しながら公開するために適切な環境を維持する施設です。

これまで使用していた建物は設置から約30年が経過し

根や骨組みの劣化が進んでいました。内部においても壁の隙間から雨水のしみ込みが見られました。

新たな覆屋では、エアコンを稼働させながら、適温を保ち、十分な明かりを取り入れることで、より快適な見学環境になります。

また、これまでの覆屋はドーム状で屋根が白いことから周囲の林に対して覆屋の存在が目立って見えていましたが、新しい覆屋は周囲の景観にな

じんだ色調となります。  
令和8年度中に公開する予定です。



改修の進む子供の墓の覆屋



完成後（イメージ）

### リフォーム 「大型竪穴建物」

三内丸山遺跡内にある覆屋や復元建物は、ほぼ同時期に建設されているため、大型竪穴建物も、各部材の経年劣化が進んで

いる状況でした。

そこで、復元した大型竪穴建物の長寿命化を目的とし、令和6年度から令和7年度にかけて改修工事を実施しています。  
茅葺き屋根については、古くなった屋根に新しい茅を差し込んでいく「差茅」と呼ばれる方法で改修を進めており、茅葺き職人たちが丸太を足場にしながら作業します。



改修の進む大型竪穴建物

また、建物内部でも、劣化した藤蔓・編み蔓の巻き直しを行うなど、復元した際の手法を用いながら、日々改修を進めています。

### さんまるJOMONの日 を開催しました！

令和7年9月13日（土）～15日（月・祝）の3日間で、「さんまるJOMONの日」を開催し、約5千人の方が来館しました。

縄文時代の生活を体感できる「クルミ割り体験」や遺跡を一望できる「縄文パノラマビュー」などを行ったほか、今年度の発掘調査の成果を公開する「発掘調査現地説明会」も行いました。

13日（土）、14日（日）は閉館時間を延長して遺跡内のライトアップを行ったほか、「お月見コンサート」やワークショップ「縄文の星図盤を作ろう」



縄文パノラマビューの様子

を開催し、ふだん見ることができない夜の遺跡を楽しんでいただきました。

今後も、皆様に楽しんでいただけるようなイベントを企画していきます。

令和8年1月31日（土）、2月1日（日）は、「三内丸山縄文冬祭り」を開催予定です（**入場無料**）。ぜひ、お越しください。

### 冬のじよもじよも

青森駅東口ビル4階

じよもじよもでは、青森の8つの縄文遺跡を楽しく学べるイベントやワークショップ等を開催しています。

12月下旬から1月中旬の青森県内の学校が冬休みの期間には、大平山元遺跡と三内丸山遺跡について学ぶワークショップや講演を行います。

**12/27 土** 大平山元遺跡  
10:00-14:00  
ワークショップ「石壁マグネットづくり」  
14:30-15:00  
講演「ままのつな」

**1/17 土** 三内丸山遺跡  
講演「さんまる発掘うら話」  
ワークショップ「縄ひきづくり」

じよもじよもには、このほかに縄文時代の四季や生活の様子がよくわかる模型の展示、縄文服を着て写真撮影ができるフォトスポット、土器パズルや魚釣りゲームなどを設置しています。  
こちらにも、ぜひお越しください！

イベントに関する最新の詳しい情報は、三内丸山遺跡公式ホームページで確認できます。

